

## 勤務中に大地震が発生したら、どうやって避難しますか？

ある事務所での出来事

### ● 法人顧客の建物構造と従業員への質問

先日、法人のお客さまの事務所へ訪問させていただきました。建物は鉄筋コンクリート造り4階の建物ですが、1階部分のすべてが駐車場となっていて外壁のない柱だけで建物を支えています。比較的古い建物によくある構造で耐久性は脆弱です。しかも、ちょっと変わった特徴があります。

それは4階まで続く階段が建物の外壁に沿って設置されていることです。建物内には階段はありません。もちろん、エレベーターもないです。つまり、緊急時に利用する非常用階段を兼ねている階段なのです。私は4階まで息を切らしながらゆっくり上がる途中、風が強くて階段の手すりがゴーンと鳴り響いていました。「ここで今、大地震が発生したらどうなるのだろう」と想像しながら、ようやく4階にたどり着きました。

そこで働く事務員さんたちとの会話のなかで防災の話になったときです。こんな質問をしました。「ところで、4階で仕事をしているときに大地震で揺れし出したとき、どうしますか？」

事務員さん「震度が大きいと身動きができないだろうし、それに机の下に潜り込むといっても、その机ごと飛ばされてちやうよね。ひょっとしたら、建物が古いから天井が倒壊して机ごと潰されちやうかもね」。すると、別の事務員さんは「へえ～、私そんなこと考えたことなかったわ！」と驚いたような返事でした。

もうひとりのベテラン事務員さんは「そういえば、この階に『緊急縄はしご』があったはずよ。でも、何年も訓練していないから、ほこりだらけになってるよね、きっと」と言いつつも、『緊急縄はしご』を確認しようとはしませんでした

### ● 防災用品は準備していないし、避難訓練も実施していなかった

私は「避難訓練をしていないのだったら、緊急時に避難器具が使えないので大変なことになるでしょうね。それに、地震で建物が傾いたら降りることもできませんよ。消防車も忙しくて誰も助けに来てもらえないし」……「いっそのこと、4階から飛び降りますか？」……少し沈黙が続いたので別の話題に変えてみました。

私「机の下にヘルメットと運動靴を保管していますか？」と事務員さんに質問してみました。事務員さんたちは「何で？」とキョトンとした顔が印象的でした。私「大地震が起こって事務所から外へ脱出するには、頭を守るヘルメットや、歩きやすい運動靴が必要なんです。液状化で盛り上がった道路を歩くことは危険がいっぱいですからね」すると、事務員さんは「うん、なるほど！」って、妙に納得されていました。防災対策はできることから少しずつ取り組んでいきましょう。